

専門科目 保健政策・医療管理学

(専門職学位課程)

科目名	国際保健学演習	code number : HPM-GH 364	選択	2 単位
-----	---------	-----------------------------	----	------

科目責任者	崎坂 香屋子 准教授						
配当年度	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	水曜 3,4時限	授業方法	講義・演習

## 1. 授業の概要

2020年ほど、私たちを含め日本の、そして世界の人々が「公衆衛生学」(Public Health)やPandemicという言葉を知り、「感染症対策の難しさ」を学んだ年はなかった。突然のコロナウイルス感染症(Covid-19)の世界的規模の流行、蔓延(Pandemic)により、猛烈な勢いをもった感染症に多くの国が「勝った」とは言えない状況が続いている。この感染症に打ち勝つには、個人の行動変容だけでも、医療技術や医療システムだけでも勝つことはできない。政治の力や世界の国々が連携、協力し、情報交換も行うこと、ワクチン開発においても世界的視野が欠かせないことを私たちは学んだ。本科目では「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」(2016-2030)の中の保健医療分野に関連する開発課題や日本が深く関与しているテーマあるいは受講者が実際に関わってきた課題を取り上げ、英文短報等を用いての討論やロールプレイ、個人発表など多様なアクティブ・ラーニングの手法を通じて実際に当事者として国際保健を改善するための学びを深める。またGlobal Healthの改善に取り組む国際機関、2国間援助機関、国際NGO等の取り組みやその特徴についても知見を共有する。条件を整えば在京の国際機関、政府機関等のGlobal Healthへの取り組みを訪問授業等を通じ担当者で討論する場を提供する予定である。前期に開講予定の「国際保健学概論」もあわせて履修しておくことを薦める。

## 【一般目標(GIO)】

国際保健分野の重要課題について理解し、世界レベルでの取り組みについても説明、解決策を提言できるようになる。

## 【行動目標(SBO)】

- 1.Global Healthの課題別、地域別課題、特に感染症対策、非感染症対策(NCD)、Universal Health Coverage(UHC)等について、その概要を解説できる。
- 2.Global Healthの課題の改善について現場で取り組む国際機関や日本を含む2国間援助機関、また国際NGO等の具体的かつ効果的取り組み、特徴、および今後の課題について説明できる。
3. Global Healthのいくつかの課題の改善のための方策について具体的に企画、実施、評価ができ、解決のための政策について具体的な提案ができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1) 授業内で行う課題、宿題(40%)
- (2) 授業内での発表、発言、質問力、討論での積極性(20%)
- (3) 最終課題レポート(40%)あるいは筆記試験(40%)
  - ・出席点による加点は行わない。無断欠席については減点の対象とする。オンライン授業の場合で、出席していても討論に参加の場合出席と認めない。

指定する文献・副読本を事前に読んで理解すること。参考文献、資料については第1回目に指示する。講義を通じて議論等に使用するジャーナルとしてLancet, Lancet Global Health, Lancet Public Healthを用いるのでこれらのジャーナルの論文、記事を理解できるようにしておくこと。

## 5. 参考書

「国際保健医療学 第3版」(杏林書院、2013年)他、各講義において事前に読むべき文献および参考となる文献、論文を指示する。講義のあいだに担当者・受講者から何点かLancet Global Health[<https://www.thelancet.com/journals/langlo/home>]から最新のGlobal Healthに関する論文、コメントについて紹介する予定であるので、あらかじめこのサイトにアクセスできるようにしておくこと。

## 7. その他履修上の注意事項

- ・文献類(事前に配布する)は読み込んでおくことが望ましい。
- ・本演習では受講者の興味、活動、調査についても1人1、2回はパワーポイントを用いて数分程度で紹介、解説し、自らの主張を含め発表いただく時間を設ける(質疑応答の時間も数分程度とる)。
- ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

## 7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

## &lt;授業計画&gt;

## 国際保健学演習

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/15(水)	3	崎坂香屋子 准教授	Introduction,科目オリエンテーション、受講者による興味のある課題についての個別プレゼンテーション
2	9/15(水)	4	崎坂香屋子 准教授	新たなGlobal Healthの課題とは: Covid-19, NCDs, Human Rights, Armed Conflict and Refugee, Disaster Mitigation, Nutrition Improvementの課題とは(東京栄養サミット2021に向けて)
3	9/22(水)	3	崎坂香屋子 准教授	主要国際機関のGlobal Healthに対する取り組み(1):UNDP, UNICEF, UNFPA, WFP, IOM, ILO, UNHCR
4	9/22(水)	4	崎坂香屋子 准教授	主要国際機関のGlobal Healthに対する取り組み(2)開発金融機関の役割と特定課題への取り組み:WB, ADB, IFAD
5	9/29(水)	3	杉下 智彦 講師(非)	アフリカ地域におけるGlobalHealthの現状と課題(1)感染症対策、地域に特有な疾病とその背景
6	9/29(水)	4	杉下 智彦 講師(非)	アフリカ地域におけるGlobalHealthの現状と課題(2)アフリカにおける保健システム,
7	10/6(水)	3	坂元 晴香 講師(非)	国際的保健政策の決定プロセスと日本の役割: World Health Organization(WHO)と日本 (1)
8	10/6(水)	4	坂元 晴香 講師(非)	国際的保健政策の決定プロセスと日本の役割: World Health Organization(WHO)と日本 (2) ロールプレイによる学修、総合討論
9	10/13(水)	3	崎坂香屋子 准教授	主要先進国のGlobal Healthに対する取り組み(1) OECD加盟国、先進二国間援助機関の取り組みの現状と課題
10	10/13(水)	4	崎坂香屋子 准教授	主要先進国のGlobal Healthに対する取り組み(2) 日本の国際保健政策の変遷(外務省国際保健政策室の取り組み)
11	10/20(水)	3	葵 佳宏 講師(非)	国際緊急医療搬送の仕組みと課題(1) 「いのちの値段」は違うのか
12	10/20(水)	4	葵 佳宏 講師(非)	国際緊急医療搬送の仕組みと課題(2) 高齢者、災害、新型コロナウイルス感染症と国際救急搬送
13	10/27(水)	3	高橋 謙造 教授	Covid-19の世界的蔓延(Pandemic)を事例に感染症対策の具体的な対応を学ぶ(1)
14	10/27(水)	4	高橋 謙造 教授	Covid-19の世界的蔓延(Pandemic)を事例に感染症対策の具体的な対応を学ぶ(2)
15	11/5(金)	5	崎坂香屋子 准教授	まとめ、総合討論